

第5回 原子力災害対策本部会議 議事概要

1. 日時

平成23年3月13日（日） 10:04～（10:20までには終了）

※開始時間は、原子力災害対策本部の議事に入った時間。

2. 場所

官邸4階大会議室

3. 構成員等

本部長：菅直人内閣総理大臣

副本部長：海江田万里経済産業大臣

本部員：片山善博総務大臣〈代理：平岡秀夫総務副大臣〉・内閣府特命担当大臣（地域主権推進）・地域活性化担当、松本剛明外務大臣、野田佳彦財務大臣、高木義明文部科学大臣、細川律夫厚生労働大臣、鹿野道彦農林水産大臣、大島章宏国土交通大臣・海洋政策担当、松本龍環境大臣・内閣府特命担当大臣（防災）、北澤俊美防衛大臣、枝野幸男内閣官房長官・内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）、中野寛成国家公安委員会委員長・公務員制度改革担当・拉致問題担当、伊藤哲朗内閣危機管理監

その他：江田五月法務大臣、自見庄三郎郵政改革担当・内閣府特命担当大臣（金融）、蓮舫内閣府特命担当大臣（行政刷新、消費者及び食品安全）・節電啓発等担当、玄葉光一郎国家戦略担当・内閣府特命担当大臣（「新しい公共」、科学技術政策）・宇宙開発担当、与謝野馨閣府特命担当大臣（経済財政政策、少子化対策、男女共同参画）・社会保障・税一体改革担当 等

※緊急災害対策本部（全国務大臣で構成）と連続開催のため、本部員以外の閣僚も原子力災害対策本部に出席。

※本部員ではないが、本部会合には原子力安全委員会委員長が出席する。

4. 配布資料

- ・地震被害状況（第19報）（経済産業省）
- ・福島第一原発の事故に係る避難について（3月13日8:00現在）（官邸対策室）
- ・福島第二原発の事故に係る避難について（3月13日7:00現在）（官邸対策室）
- ・各発電所からの距離

※上記資料については、緊急災害対策本部と同時開催のため、重複している可能性あり。

5. 議事概要

○枝野幸男内閣官房長官から第7回緊急災害対策本部及び第5回原子力災害対策本部の開会を宣言。

○菅直人内閣総理大臣より下記のとおり挨拶。

- ・地震発生から三日目となる。この間、被災された皆さんに本当に心からお見舞い申し上げるとともに、救出にあたる、あるいはいろいろな形で努力されている皆さんに敬意を表したい。
- ・三日目、大変今日も昨日に続き重要な一日と考えている。この間、自衛隊を始めとする救

- 援活動で、昨日の報告のように3千名を超える人を救出することができたが、今日もなんととしても一人でも多くの方が命を救われるように最大限の努力をお願いする。特に今なお孤立状態にある人たち、グループ、この救出にまずは全力をあげ、水・食料・毛布・トイレといった形についても、すでに相当の動きをしているが、さらなる努力をお願いする。
- ・また自治体との関係も中には自治体機能が失われているところもある。そういうことを念頭において、県、あるいは場合によっては国が直接対応していく。昨日の方針に沿って頑張っていたきたい。
 - ・この会議に引き続いて行われる原子力の会議の中でも報告があるが、福島第一原子力発電所で、3号機において新たな事態が発生している。すでに経産大臣を中心に対応を進めているが、全機関が力を尽くしてこの新たな状況に対して住民の皆様の安全ということを最大に考えて対応に努めていただきたい。私自身もこの問題では特に、陣頭指揮を執って経産大臣あるいは関係機関と努力をしなければならないと考えている。
 - ・また各大臣、外国からもたくさんの救援の手が差しのべられているが、そういう関係を含め、是非ともそれぞれの大臣の持ち場でやれることをフルにやっていただきたい。
 - ・もちろんこれから先、復興とかいろいろな産業に対する影響をどのように補填していくとか、そういう問題にも話が進むことは当然であるが、直接的には命を救うという、そのことをまず今日の、この三日目に当たっての改めての最優先課題として頂きたい。
 - ・その上で、その先についてもこの最優先課題に支障を来さないところで同時にその先のことも準備を押し進めていただきたい。そして先ほど申し上げた原子力の問題はそれに加えての極めて大きな課題であるので、このことは一刻も猶予のない課題であるという認識のもとで取り組んでいただきたい。このことを重ねて申し上げて、皆さんの一層の奮闘をお願いして挨拶とする。頑張ってください。

(菅直人内閣総理大臣の挨拶に続き、第7回緊急災害対策本部の議事が行われた。記載略。)

○枝野幸男内閣官房長官から、第7回緊急災害対策本部に続いて、第5回原子力災害対策本部の議事に入る旨案内。

○海江田万里経済産業大臣から原子力発電所の現状について下記のとおり報告。

- ・もっとも被害の大きかった福島第一原子力発電所をはじめ、安全確保に向けて、官民挙げて懸命な取り組みを行っている。
- ・昨日午後、1号機の建屋で爆発が生じるなど厳しい状況が続いているが、原子炉は頑丈な鋼鉄製の格納容器の中に納められており、深刻な破損はない旨報告を受けている。
- ・昨日20時20分から、1号機の原子炉圧力容器内に海水の注水を開始し、炉心冷却を実施。これまで圧力容器の満水相当の海水を注入し、注水は継続している。
- ・電源確保のため、電源車からの接続作業を進めている。
- ・3号機についても、今朝、すべての注水機能が失われる事態に至っており、電源と注水機能の回復と、ベントの実施に向けた作業が行われている。
- ・福島第一、第二原子力発電所敷地境界周辺の放射線量についても、一時上昇したが、その後低下したものの、直近では再び急上昇しており、注意が必要。
- ・一部の住民が避難中に被ばくしたとの情報もあるが、被ばくが確認された場合には、そのレベルを測定し、除染などの措置を行っていく。

○枝野幸男内閣官房長官から閉会を宣言。

以上

※本議事概要は各種資料等を元に、2012年3月1日に整備。